

第9回伊勢広域環境組合ごみ処理施設基本構想策定委員会 議事概要

【日時】平成31年3月14日（木） 19:00～20:00

【場所】三重県伊勢庁舎 1階 101会議室

【出席者】（敬称略）

＜委員＞（◎は委員長、○は副委員長）

- ◎深草 正博 皇學館大学 教育学部 特命教授
- 加藤 忠哉 三重大学 名誉教授
- 荒井 喜久雄 公益社団法人全国都市清掃会議 技術指導部長
- 和氣 城太郎 三重県環境生活部 廃棄物対策局 RDF・広域処理推進監
- 坂本 進 伊勢市環境生活部長
- 古布 武 伊勢市環境生活部環境課長
- 出口 昌司 伊勢市環境生活部清掃課長
- 松井 友吾 明和町人権生活環境課長
- 見並 智俊 玉城町税務住民課生活環境室長
- 中西 章 度会町防災環境課長
- 中井 宏明 伊勢広域環境組合 事務局長

＜事務局＞

伊勢広域環境組合

＜コンサルタント＞

株式会社エックス都市研究所

【配布資料】

資料1-1 構想（案）に対する意見募集の結果について

資料1-2 意見の非公開について

資料1-3 構想（案）に係る住民説明会 概要

資料2 ごみ処理施設整備基本構想（答申）

資料3 答申書（案）

参考資料1 基本構想に係るこれまでの経緯と今後の予定

参考資料2 委員名簿

1 開会

- 傍聴席20席を準備し、11名の傍聴希望者の入場を認める。
- 玉城町の組織再編に伴う人事異動によって、西野委員から見並委員へと変更があった。

2 これまでの経緯の説明

- 事務局より参考資料1、参考資料2に基づき説明し、委員からの意見は特になし。
- 以下の基本構想（案）の変更箇所を承認した。
 - ・玉城町の委員変更に伴って、基本構想（案）に掲載している委員名簿に変更があることを承認。
 - ・開催経過に本日開催する第9回委員会を追加することを承認。

3 議事

（1）パブリックコメント・住民説明会について

- 事務局より資料1-1、1-2、1-3に基づき説明した。主な意見等は以下のとおり。

（委員）住民説明会の参加者には、発言概要は公表することは説明していたか。

（事務局）当日の説明はしていないが、説明会自体は公開で実施したものであるため概要も公表する考えである。

（2）基本構想（案）について

- 事務局より初めに資料2に基づき説明した。主な意見等は以下のとおり。

（一同）パブリックコメントを踏まえても、基本構想の構成や内容については変更なしで了承。

（3）答申について

- 事務局より初めに資料3に基づき説明した。主な意見等は以下のとおり。

（委員）答申書の日付のみ修正が必要。

（事務局）誤植であるため修正する。

（4）その他

- 各委員より挨拶。

（A委員）約2年間で検討してきたわけですが、最近の方向性として地域に貢献できるような施設をつくるということがあります。そういう意味で、基本構想で示す基本方針あるいはごみ処理方式や施設規模等について議論してきました。答申書に書いてあるように住民の皆さま方にご理解いただけるような十分な説明と、地域に貢献できるような施設を、今後整備していただければと思います。

（B委員）委員長には難しい内容をまとめていただきましてありがとうございます。

J委員、A委員には、桑名広域清掃事業組合から引き続き委員会で検討していただき、県内の施設のためにご尽力いただきましてありがとうございます。A委員がおっしゃったように地元の方々への十分な説明というのは、ごみ処理施設整備

においてたいへん難しい問題だと思えます。今後も最大級の配慮をしていただき、事務局で慎重に進めていただければと思っております。よろしくお願いいたします。

(C委員) 前任から引き継ぎを受けまして、昨年の4月に就任しました。もともと環境分野を通算で6、7年の経験をしながら、今回こういう立場で任命していただきました。答申書という形で提出されますけども、答申書の内容を十分にご確認していただいて、示された方向性に留意して決定をしていただければと思えます。短い時間でしたがありがとうございました。

(D委員) 私も前任から代わりまして、半年間の短い期間でございました。委員の皆さまがおっしゃいましたように、住民への説明というところを重視していただきながら、今後続けていただければと考えております。本当にいろいろお世話になりました。ありがとうございました。

(E委員) 本当に2年間ありがとうございました。組合としては、一大事業でありますのでこのようにまとめられるのはありがたいと思えます。これまで住民の皆さんといろいろなお話をさせていただき、本当に丁寧な説明が求められると思えます。それを肝に命じまして、答申書にありますように、これからの施設としてはどれだけ地域に貢献できるか、地域から好かれるかということが大事であると思えます。これまでの負のイメージではなく、新しく明るい施設ができるようにこれからも努力していきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

(F委員) 私も1年間でしたがありがとうございました。度会町は平成10年に組合に加入させていただいております。この計画を基に今後減量化や適正な処理を心がけて、運営に協力していきたいと思っております。長い間ありがとうございました。

(G委員) 策定の最初に八つの基本方針を決めたと思えます。この中で、まずは安全・安心に配慮した施設が一番上に来ていると思えます。まず、それが一番大事な話であるかと思えます。それで答申書にも書いてあるように地域に貢献できる施設というところになるかと思えますので、そのような構想をしっかりと組合でつくっていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(H委員) 2年間いろいろご意見をいただきながら進めてきたと思えます。この答申書の中にあるように構成市町におきまして、やはり連携しながら進めていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

(I委員) 私も昨年の4月からほぼ1年間でした。全9回の中の策定委員会ですけど私は3回しか参加できませんでしたが、私が参加させていただいた時には基本構想(案)ができあがっており、本当にありがたいことだと思っております。先程から話がありましたが、基本方針をしっかりとやっていきたいと思えます。伊勢広域環境組合となっておりますが、構成市町もこれをいただいたという気持ちでいきたいと思えますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

す。

(J委員) 先程、B委員からも紹介いただきましたが、桑名の同じような施設の検討を終わらせてまいりまして、その前には三重県のいろいろな自治体の環境委員というものを20年ほど努めておりました。大学の専門はプラスチックですので一般的なごみとは関係ありませんが、私が一番こういう議論で気になるのが、一番初めにごみを減らすという議論がどなたからも出ないということです。ある都市ですと20年間、実は環境の審議会の委員長を引き受けているのですが、その間に住民一人当たりのごみ排出量は増えることはあっても、1グラムも減っていないです。その最大の原因は、実は生ごみなのです。こういう立派な施設ができてもそれをいかに安全に運用するかということも大事になると思います。それと時代によって流行り廃りがありまして、燃烧論がすごく議論になるときもありましたが、最近はバイオエネルギーの回収という意味でメタン発酵というところへと議論が移りつつあります。したがって住民の皆さんの意見にありますように、とにかく回収したエネルギーを今の技術では極めて有効に利用はできますが、どういう手段で回収したエネルギーか、というところが実は日進月歩で、実際に発注する段階では、今の技術以上に進歩していることをお互いに期待したいところであります。

(委員長) 大学の専門は環境史で、歴史的に環境を見るということになっています。環境教育といって現在の環境をどうしたらいいのかということ进行研究していますが、実際の現場でのごみ処理の最先端に立たせていただいて、しかも現地のいろいろなところを見学し、そういう意味では私自信も認識を新たにすることが多々ございました。本当に委員の皆さま方に支えていただいたような2年間でございました。委員の皆さま方に感謝の言葉しかございません。それと、いろいろなごみ処理の方法を教えていただいたりと、さまざまなことで私自身、本業にとっても重大な2年間だったと思います。それより何よりも委員の皆さま方からもありましたように、住民の方々のご理解とご意見は慎重に検討して、さらに進めていくことが何より大事です。まさにその局面にある方にとっては非常に深刻な問題であることは間違いのないことです。よくよくご意見をしっかり拝聴しながらさらに進めていくということを必ず実施していただきたいと思っております。

3 閉会